

<試験について>

- ・試験範囲は、建築環境工学全般（熱環境、光環境、空気環境、音環境など）。教科書、配付資料、板書、講義内容、演習問題などの全てを含む。
- ・試験時間割は、各自で確認のこと。恐らく2月3日（水）の4時限目だと思われる。
- ・試験時間は、90分。
- ・持ち込み可能なものは、辻原の印鑑が押されたA3版の紙1枚のみとする。この紙に何を書き込むかは、各自の自由。コピーしたもの、もしくは切り貼りしたものは認めない。なお、この紙は、試験終了と同時に、解答用紙と共に回収するので、学籍番号と名前を書いておくこと。また、その後、返却を希望する者は、その旨も明示しておくこと。
- ・試験中に、関数電卓を使用しても良い。
- ・試験を受けることができない事情がある者は、事前に必ず辻原まで連絡すること。
- ・第1回目で予告した通り、出席と定期試験（筆記試験）に加えて、提出物の提出状況も加味して、最終的な評価を行う。その割合は、出席点と演習問題の提出点が約3～4割、定期試験（筆記試験）が約6～7割として評価する予定。

質問・連絡先：

助教授・辻原 万規彦

部屋：環境共生学部旧棟（旧生活科学部棟）4階西南角

電話：096-383-2929（内線492）

e-mail：m-tsuji@pu-kumamoto.ac.jp

助手・岡本 孝美

部屋：環境共生学部旧棟（旧生活科学部棟）4階南側中央付近

電話：096-383-2929（内線482）

e-mail：okamoto@pu-kumamoto.ac.jp